

令和7年度第2回新発田市子ども・子育て会議 会議録 概要

会 議 名	令和7年度第2回新発田市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和8年3月27日（金）午前10時～11時45分
開 催 場 所	健康長寿アクティブ交流センター 屋内広場
議 題	(1) 第1期 新発田市こども計画における令和8年度取組内容について (2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施に係る意見聴取について (3) 令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金について (4) その他
出 席 者	<p>【委員】 12名 金山愛子会長、木村雅子副会長、板垣雄平委員、熊倉亜矢子委員、石沢明美委員、吉井元樹委員、大川原さとみ委員、浅倉真美委員、平野京子委員、村山和佳子委員、小池学委員、阿部敬子委員</p> <p>【説明課】 （健康推進課）清野直美課長、（青少年健全育成センター）古田潤子所長、（学校教育課）彌源治仁伺課長、（人権啓発課）内田恭子課長補佐、（社会福祉課）山下哲也課長、（地域安全課）長谷川英一課長、（商工振興課）石井健太係長</p> <p>【事務局】 （こども課）太田貴輝課長、宮村崇康課長補佐、石山威哉課長補佐、中山巧センター長、小池みのり室長、本間陽子主任副参事、佐藤誠係長、石倉弘庸係長、出戸幹係長、駒澤勲係長</p>
欠 席 者	松田委員、大堀委員、斎藤委員、阿部（聡）委員、小林委員
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
配 布 資 料	①令和7年度第2回新発田市子ども・子育て会議次第 ②資料1 第1期 新発田市こども計画における令和8年度取組内容について ③資料2 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施に係る意見聴取について ④資料3 令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金について
議題(1) 第1期 新発田市こども計画における令和8年度取組内容について	
各説明課	議題(1)について各々説明
小池委員	53番放課後児童健全育成事業と173番児童クラブでの障がい児受入について、放課

	<p>後デイサービスの需要が高まっており、週5日の枠が取りにくい状況が毎年続いている。以前の質問で、児童クラブでの受入拡充の強化という話があった。胎内市でも児童クラブで障がい児を受け入れているが、放課後等デイサービスの職員が児童クラブに出向き、環境調整や支援の仕方についてレクチャーを行っている。</p> <p>児童クラブの中でも専門性を高め、保護者も安心して5日間預けられるような取り組みを期待している。</p>
社会福祉課	<p>放課後等デイサービスと児童クラブを併用し、月曜から金曜日まで利用している方は実際にいる。令和7年度、児童クラブの指導員に対して発達障害児の研修会を実施したほか、障がい児の相談窓口である基幹相談支援センターを紹介するなどをし、放課後等デイサービスと児童クラブで連携を取りながら行っている。令和8年度についても、協力し合いながら行っていきたい。</p>
青少年育成センター	<p>実際に、児童クラブの方でも戸惑うところもあり、どうやったら支援できるか非常に悩ましいと思っている。</p> <p>研修や基幹支援センターとの連携も行っているが、胎内市の方法については、今後、研究し、取り組みが出来たらと思っている。</p>
熊倉委員	<p>26番の乳幼児健診に5歳児健診が入っているが、5歳児健診というのは小学校就学前にグレーゾーンの子どもたちを早期発見し、早い段階での養育などの手続きにも繋がるが、健診であっているか。</p>
こども課	<p>5歳児健診の短時間の中で緊張したり環境も変わったりすると、なかなかそこですぐ診断には繋がらないのが非常に悩ましいところである。</p> <p>また、5歳児健診は教育委員会と連携し、円滑な就学に向けて保護者向けに講話も行っている。</p> <p>5歳児健診は受診率も非常に高い。その中でも1割程度の気になるお子さんの保護者に対し、心理相談という形でケアを行っている。発達障害の傾向が強いお子さんに関しては発達相談室へ通うことをお勧めする取り組みも行っている。</p>
熊倉委員	<p>先日のニュースで5歳児健診が、新発田市のように集団で行う健診ではなく、各幼稚園・保育園に小児科医が出向き、子どもたちが慣れている生活環境の中で、子どもたちの状態を見て、先生に直接フィードバックする他市の取り組みが紹介されていた。</p>
こども課	<p>現在、5歳児健診は法定健診ではなく、市町村裁量のもとで実施する任意健診である。県内他市でも、小児科医のバックアップがある中で園回り方式でやってるところもある。</p> <p>当市においての実情は、小児科医の確保というのが非常に難しく、現実的に園回り方式での健診実施は厳しい状態である。</p> <p>その中でも、豊浦にあるこども家庭センター内で、集団方式で限られた条件の中でも極力早期発見早期介入できるように努めている。</p>
村山委員	<p>8番の産後ケア事業であるが、子育て支援センター利用のお母さんたちからも産後ケアをよく利用するという話を伺う。利用には1カ月2カ月待ちという話も聞く。育児休暇中に、日中はお子さんと2人きりで過ごされる方も多く、産後ケアを使いたいという声も聞いている。ぜひ様々なところを少しずつ増やしていただいて、お母さんたちが気軽に利用ができるようになってほしい。</p>
こども課	<p>産後ケアの幅が非常に広く、心のケアも一つなので居場所作り、交流というところ</p>

	<p>も産後のケアとして捉えると、確かに受け皿が非常に少ないため、令和8年度は早急に対応を進めていきたい。</p> <p>子育て支援センターで居場所作りをしてみたり、事業者で何か取り組んでいただけたところはないかお声がけをしてみたい。また、こども家庭センターで行政が直営で実施したい。</p> <p>産後ケアは多種多様なパーソナルケアと居場所づくりがあり、行政として注力するところを判断するのは非常に難しいが、市民の利用希望が多いところは、受け皿を増やしていきたい。</p>
村山委員	<p>お母さんたちも癒しを望んでいる方と、本当に疲労困憊で休みたい方もいる。希望に沿った形で提案ができればいいと思う。居場所交流では、子育て支援センターを活用し、産後ケア事業を行っている事業者と連携を取りながら実施できればよい。</p>
こども課	<p>産後ケア事業を実施する中で、助産師が不足している。</p> <p>受け皿的なところを増やしていくと、人的対応が非常に苦慮するところがあるため、募集に協力をお願いしたい。</p>
平野委員	<p>20数年、ファミリーサポートに関わっている。</p> <p>保育園では各施設によって受入体制が異なっている。今担当している赤ちゃんは離乳食が完了していないため、土曜日保育が受け入れてもらえない。そのため、ファミリーサポートを利用している。入園する前に受入体制がわかれば他園への入園を考えたとのこと。</p> <p>児童クラブも小学4年生以上になると、低学年との関わりの中で、児童クラブに行きたくないとの理由によりファミリーサポートを利用している実態がある。もっと指導員の方が障がいの子どもだけではなく、他の学年の子どもたちとの関わりに取り組んでほしい。</p>
こども課	<p>基本的には認定の段階で就労の状況を聞きますので、土曜日が仕事であれば、土曜日保育というのは可能である。平日認定の方が土曜日働いているのか、個別に状況を確認させていただきたい。</p> <p>保育認定が月曜日から金曜日であるが、用事があるということであれば、一時預かりというサービスもある。</p>
青少年育成センター	<p>児童クラブの件ですが、他の学年がいることで仲が良くなることもあれば、逆に過ごし方が異なることで難しくなるところもあると承知している。</p> <p>また、児童クラブの利用人数は毎年100人ずつ増えている。令和8年度も市全体では1,500人ほど登録があり、指導員も増員しているが追いついていない。できることから少しずつ対応させていただきたい。</p> <p>令和8年度は幼稚園教諭保育士資格を持つ職員が、各児童クラブを回って、状況を把握し、アドバイスを行うことを検討する。</p>
板垣委員	<p>98番の新発田あんしんメールの配信ですが、小学校・中学校に入学すると、保護者は「安心でんしょぱと」というアプリをダウンロードする。そのアプリに学校から連絡が入ってくる。</p> <p>学校から入ってくる連絡は、市から学校経由で入ってくる流れとの認識でよいか。</p>
地域安全課	<p>新発田あんしんメールは、基本的に防犯情報や火災情報を防災情報として配信している。熊に関しては、出没状況として農林水産課から配信している。</p> <p>学校から配信される情報は、学校側で情報を確認後、保護者に配信していると認識</p>

	している。
板垣委員	熊の出没件数が増えており、頻繁に連絡をいただく。Google マップで詳細がわかるようになっているが、場所が誤っている場合もある。 発信力があり、すぐに情報が届くという意味では安心に繋がるが、誤情報では不安を感じてしまう。 登校時に学校側が正確に迅速に判断できるように情報発信をしていただきたい。
審議結果	出席委員過半数が賛成し、承認された。
議題(2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施に係る意見聴取について	
こども課長	議題(2)について説明
金山会長	利用定員確保数について、55人とあるが、算出方法を再度説明してほしい。
こども課	4月1カ月の空き定員が23人と見込み、年度途中入園を受け付けている。 途中入園を受け入れても2割程度は空きが確保できる状況である。23人×12月の2割として、年間では55人として算出した。
審議結果	出席委員の全員が賛成し承認された。
議題(3) 令和8年度就学前教育・保育施設整備交付金について	
こども課長	議題(3)について説明
審議結果	出席委員の全員が賛成し承認された。
議題(4) その他	
村山委員	こども誰でも通園制度ですが、子どもデイサービス制度と似たような点があるため、保護者等にわかりやすく制度の提示をしていただきたい。
事務局	事務局からの連絡 ①次回の会議開催予定（令和8年7月上旬を予定）について ②今回会議の議事録を市ホームページに掲載する
閉会	